

みなみゼロ作戦

消防防災課・支所住民室

昭和南海地震（昭和21年12月21日）から61年が過ぎました。この地震津波により、美波町では8名の尊い命を失いました。災害を過去のものとして、体験を語り継ぎ、教訓を次の災害に活かすことが大切です。次に来る南海地震に向けて、家庭での対策、地域での対策を進めていきましょう！

恐ろしかった津波の体験

山田 恵子 氏（昭和5年生まれ、美波町西の地在住）

昭和21年12月21日、当時、私は16歳でした。前の夜、遅くまで芝居の稽古をしていたため、とても眠い状態だったことを記憶しています。寝ている時、突然、家が大きく横に揺れました。揺れが次第に強くなり、家の中に居られない状態になったので、家族4人で外へ出ました。立って居られない程の大きな揺れだったので、4人が輪になって道路へ座り込んでいました。

やがて揺れが収まると、再び眠るために家に戻りました。しかしこの行動によって、その後、生命の危険にさらされることになるとうちは、思いも寄りませんでした。

布団に入って何十秒か経つと、外からざわざわと『津波だ』という声がありましたので、「急いで逃げなくては・・・」と思い、親子4人で玄関の戸を開けました。するともう既に、腰ぐらいの位置まで津波が来ていたのでした。逃げようとしても津波の威力で思うように避難できず、次の瞬間、津波にのまれて海の底を転がるように水にもまれてしまったのでした。水の中でどちらが上か下かも分からず、まさに海の藻屑のようでした。

水の中で、「もう死ぬかもしれない」と思った時、最後の力をふり絞って水の上に浮き上がると、手に何か触れたので慌ててつかまりました。津波が引くまでそのままつかまり続けました。

やがて潮がゆっくりと引き、体が地上に下りたとき、つかまった所を見てみると、それは裏の家の玄関の軒でした。裏の家の中から誰かの声が聞こえたので声をかけてみると、何と逃げる時バラバラになった家族がそこに避難していたのでした。

自宅に戻ると1階はひどい状態で、置いてあった物は全て流されていました。近所の人からリンゴ箱をいくつか貰ってきて、その上に干して乾かした畳を敷き、しばらくの間、過ごしました。1階で生活を再開できるまで7日から10日ぐらいを要しました。その後、余震が数ヶ月にわたって続いたため、しばらく恐ろしい思いをしました。地震よりも津波にさらわれたことの方が、口で言い表せないほどの恐怖でした。

海辺に住む者は『揺れを感じたらすぐに避難』。昭和南海地震の時、私はそんな当たり前のことができませんでした。

今世紀前半にも発生すると言われている南海地震。この南海地震に対し、私は同じ失敗を繰り返さないよう、防災意識をしっかりと身につけていこうと心がけています。



気象庁地震津波監視課所蔵

火災が発生しやすい季候が続いています。美波町から火災を発生させないように心がけましょう！

森を木づかう住宅資金貸付制度のご案内

- 認証木材を使用して新築・リフォームされる方に金利優遇を実施します -

徳島県内で生産された木材がたくさん利用されることで、県土の保全や地球温暖化防止につながります。あなたの「木づかい」をお待ちしております!!

【貸付の内容】

	認証木材使用住宅 (新築、建売)	認証木材使用リフォーム (リフォーム、増改築)	【受付期間】 平成20年3月31日まで
上限金額	2,000万円	900万円	【取扱金融機関】 阿波銀行・徳島銀行・四国銀行・四国労働金庫・徳島信用金庫・阿南信用金庫・徳島県農業協同組合連合会・徳島県漁業協同組合連合会
貸付金利	2.3%(平成19年10月時点:金利は金融情勢により変動する場合があります)詳しくは、取扱金融機関の店頭または県ホームページでご案内しています。		
その他	各取扱金融機関の定めによります。		

お問い合わせ先 徳島県農林水産部林業振興課 木材生産流通担当 ☎088-62-2448

《この制度による住宅ローンの金利優遇は、取扱金融機関の協力により実施されています》